

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会(第4回新大阪駅東口まちづくり部会)会議録

日 時：令和2年10月12日(月)午後7時～午後7時20分

場 所：東淀川区役所3階区民ホール

【議事】

- 1 開会・部会長挨拶
- 2 議題
 - (1) 余剰地の検討について
 - (2) まちづくり範囲の検討
 - (3) その他
- 3 情報提供
 - ・第4回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会会議
- 4 閉会
 - 連絡事項など

≪配付資料≫

- ・ 議事次第
- ・ 座席配置図
- ・ 第4回新大阪駅東口まちづくり部会資料
- ・ 第4回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会会議

1. 開会・部会長挨拶

2. 議題

(1) 余剰地の検討について

(事務局)

- ・ 前回の部会から時間が経過しているため、これまでの経過も含めて説明する。
- ・ 当部会は平成29年3月30日に発足し、第1回部会では「大阪・東淀川区の玄関口にふさわしいまちづくり」、「人権を尊重するひとにやさしいまちづくり」、「駅に近接する幹線道路沿道にふさわしいまちづくり」をテーマとし、学識経験者のアドバイスを受けながら、地権者、地域、行政が新大阪駅東口から概ね0.5kmの半円内を対象に、まちづくりに必要な事項を主な活動とし連携・協働していくことを確認した。
- ・ 平成29年8月8日に第2回部会を開催し、直近で進めるべき事が「市営住宅の耐震性の確保及び居住水準の向上」、「地域まちづくりへの貢献」であることを確認し、市営住宅の建替を早期に再開することで合意いただいた。
- ・ 平成31年1月17日に第3回部会を開催し、市営住宅の建替え位置をもと日之出住宅7号館跡地に変更することに合意いただいた。
- ・ 第3回の部会以降、住宅の建替え範囲について検討し、余剰地について3案提案したい。
- ・ A案、B案については、土地の南側に隣接する東西道路を軸とした配置に、C案については、土地の東側に隣接する南北道路を軸とした配置とした。
- ・ まちづくりのポテンシャルとして用途地域の割合の違いや自動車の交通量の観点から整理を行った。
- ・ 今回の提案内容については、地域へ持ち帰っていただき、住民の皆さんのご意見を集約していただき、次回の部会で余剰地を確定させたいと考えている。
- ・ 以上、簡単ではありますが、議題の提案とさせていただきます。

(意見、質疑応答等)

- ・特になし。

(2) まちづくり範囲の検討

(事務局)

- ・議題（1）余剰地を含む範囲と、東海道新幹線南側の大阪市と阪急電鉄が所有する土地を含めた範囲をまちづくりの範囲として検討している。東海道新幹線南側の大阪市用地については、土地の境界や越境物の処理などの土地の商品化のめどが立っているものについてまちづくり範囲に含めている。
- ・今後は、地域住民の意見を聴く機会を設けていただき、年明けには部会を開催し、頂いた意見を反映させ、この地に相応しい土地利用についてご議論いただききたいと考えている。
- ・余剰地と同様に地域へ持ち帰っていただき、住民の皆さんの意見を頂きたいと考えている。この土地でどのような土地利用を望むのかという点も、ご意見を頂きたいと考えている。

(意見、質疑応答等)

- ・特になし。

(3) その他

久教授のアドバイス要旨

- ・事務局から示して頂いた余剰地の3案について、個人的にはC案が一番スッキリしているように思う。
- ・A、B案は市営住宅側の街路を施設の利用者が車で通る可能性が出てくる。
- ・計画論的に見るとC案は、西側が日之出会さんと市営住宅の土地の一体性が出てくる。東側がまちづくり用地とゾーニングができていますので、敷地割りもスッキリしているように思う。勿論、地元の思いもあると思うのでご検討して頂ければと思う。

3. 情報提供

・第4回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会会議

(事務局)

- ・10月6日に第4回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会が開催された。当日の配付資料の内容について、簡単にご説明させていただき情報提供とさせていただきます。
- ・資料1では、これからの取り組みとして、導入すべき3つの機能の検討、まちづくり方針の策定などに取り組むことが示されている。
- ・資料2では、新大阪駅周辺地域のプロモーションとして、地域の動きを広くアピールすることで都市開発や機運醸成へつなげていくことが整理されている。具体的プロモーションの取り組みとしては、シンポジウム・セミナーの実施や広報媒体などを活用した情報の拡散、意見交換のほか海外からの投資につなげる情報発信手法の検討として、9月24日に実施されたシンガポール政府機関とのセッションが示されている。
- ・資料3では交通結節機能の強化に向けて、鉄道・まち・道路の構成別に検討すべき項目が示されています。具体的には、淀川左岸線の整備による利便性や、人・車・利用者が最適な区間整備を図るなどの方向性が示されています。
- ・以上、事務局からの情報提供とさせていただきます。

(意見、質疑応答等)

- ・特になし。

4. 閉会

(部会長)

- ・本日、事務局から余剰地案とまちづくりの範囲について提案させていただいた。地域住民のご意見をしっかりとこのまちづくりビジョンに反映させるよう努めたいと考えている。
- ・次回の開催については、年明けの開催を念頭に各地域での意見集約をお願いしたい。

(事務局)

- ・次回の部会開催は事務局より改めて、日程調整含めて連絡をする。

以上